

2019年度 推薦入学試験（体育推薦） 総合文化学部 日本文化学科「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
2	2

※志願者数・合格者数は、指定競技推薦を含む

2. 日本文化学科 アドミッション・ポリシー

日本文化学科は、日本文化及び琉球文化への造詣を深めることを教育上の目的としています。具体的には、言語学・文学を中心とする理論的、かつ実践的な教育を通して、国際社会、情報社会、地域社会の中で自己の役割を深く認識し、生き生きと実践できる人材、そして、豊かな知性、分析力、情報処理能力、表現力、コミュニケーション能力、共生能力を備えた人材を育てていきます。

日本文化学科では、各種入学試験を通して、以下の各専門領域に強い関心を持つ志願者を求めています。

1. 日本語学、日本文学、日本の芸術・芸能
2. 琉球語学、琉球文学、琉球芸能
3. グローバル時代に求められる文化情報の発信技能・多様なコミュニケーションのあり方

特に、AO型入学試験では、以下のような能力、意欲をもった志願者を求めます。

- ①批評・創作(小説、詩、書、絵画、演劇など)を含む広い意味での表現活動、琉球文化の継承発展に関する活動などの領域で優れた実績を上げ、大学生活の中で、さらに深めようとする人。
- ②国語科教員、日本語教員、図書館司書(学校司書を含む)、司書教諭といった当学科の専門領域に関わる職業に深い関心を持ち、それを通じて社会貢献を目指す人。
- ③国際交流活動、ボランティア活動、課外活動(スポーツ、文化活動) などを通して広い視野を備え、日本文化、琉球文化、多文化間交流などの専門領域を深く学びたいという意欲を持つ人。

3. 出題の意図

問題1は、スポーツ経験を通じた他者とのコミュニケーション能力の修得状況を、日本文化学科のアドミッション・ポリシーにある「言語」への関心の深さとともに評価するための小論文問題となっています。

問題2は、日本文化学科での学びについてどのような意欲・関心をもっているか、また、日本文化学科のアドミッション・ポリシーとの適合性を評価するための小論文問題となっています。

問1、問2とも、大学に入学する上で必要となる基礎的な知識技能である言語運用能力もあわせて問うています。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

問1については、高校時代にスポーツに力を注いだ人だからこそ発見できる、言語という面に注目したコミュニケーション能力の重要性についての説明が十分なされている作文を高く評価しました。

問2については、問題文にある条件をふまえて自身の志望動機を説明できているか、またその説明は本学科のカリキュラムにマッチしているか、を評価の基準としました。